

映画館があった頃

今年は、蒲郡でロケをした映画が立て続けに全国公開された1年でした。映画館の無いまちで映画を上映するために、市民会館やがましんホールが使われました。ドライブインシアターというのもありました。

かつて市内には映画館が何軒もあった—そう聞くと、今の若い人は驚くかもしれません。東は三谷町の「恵比寿座」から西は西浦町の「西浦会館」まで、多い時期には9館もの映画館がありました。しかし、テレビの普及や娯楽の多様化とともに、娯楽の王様だった映画館はしだいに姿を消していき、最後まで残った「蒲映」も平成12年に閉館しました。

現在は1人1台スマホが普及し、自分の好きな時・場所で、気軽に映画を楽しめるようになりました。でも、まちの小さな映画館で、ともに笑い、涙したあの頃の雰囲気も、また味があったのではないかと思います。



三谷日活（昭和39年）

ぐにやぐにや風を作ろう！

簡単に作れて弱い風でもよく揚がる風を作ります。

とき 1月15日 日・16日 日
午前10時～午後5時

ところ 1階ロビー

持ち物 タコ糸

参加費 無料 ※申し込み不要



竹島水族館 Aquarium

☎ 68-2059

館長の
ひつじょう



小林 龍二

メダカ、サンマ、マグロなどと並んで、誰でも知っているお馴染みの魚に「アジ」があります。スーパーなどでよく目にするのは正式にはマアジと言います。マアジのマは漢字では「真」でアジの中のアジ、代表格です。アジは味が良いのでアジと言います。漢字だと「鰯」。この右側の参の字も食するという意味を持っているそうです。

そんなアジですが水族館でも展示しています。蒲郡ではそれほど頻繁に釣れないので、良く釣れる浜名湖の方へ行って釣って雇用、じゃなかった来ようと思っていたのですがなかなか暇がなく、しかし実は暇な日に市内の料理屋さんに行ったらイクスで泳いでいたので仕入れの時に一緒に入れてもらい水族館に運んで雇用契約・展示しています。

料理屋さんへのイクスに到着した数



雇用契約をした方のアジです。

十匹のアジから水族館用に必要な匹数をすくって運ぶときは、何だか極度に緊張しました。すなわち私が選ぶアジは水族館で余生を過ごし、残ったアジは料理屋さんで刺身やフライになるのです。突然やって来た運命の分かれ道。いっそのことフライになって美味しく食べられるのがアジとしては正しい道なのか、水族館で海とは全く違う水槽でダラダラ過ごすのがいいのか。そうそう、冷凍保存されたアジは毎日解凍されてアシカのエサにも使われています。人生はいつどうなるかわからないのです。今を大切に生きてほしい方が良きそうです。